埼玉県立特別支援学校

塙保己一学園（盲学校）

幼稚部のご案内

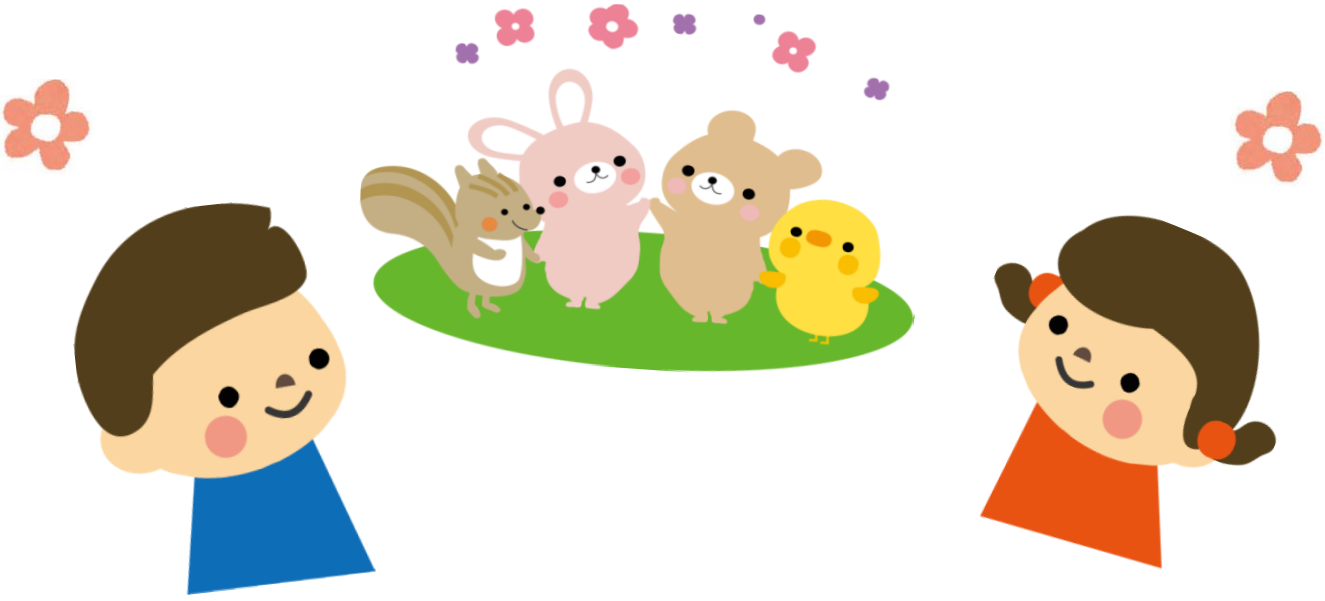
〒350−1175

埼玉県川越市笠幡85−1

TEL：049−231−2121

FAX：049−239−1015

メール：tamago@spec.ed.jp



１　教育目標

１．健やかな心と身体をつくり、たくさん遊ぶ子
①生活リズムを身につけ、健康な心と身体をつくる。
②いろいろな身体の動かし方を身につける。

２．身の回りのことは自分でする子
①触ってわかる印を頼りに、着替え、移動をする。
②自分の持ち物がわかり、使ったものを片づける。

３．感覚を十分に使って、興味・関心を持つ子
①身近な人とのかかわりや遊びを通して、自分の世界を広げる。
②なんでも見てみよう、聞いてみよう、触ってみよう、工夫してみようとする。

４．気持ちを豊かに伝える子
①自分の要求・意思・感情を発声や身振りやことばで表現する。
②相手とのかかわりや体験を通して、言葉や感情を豊かにしていく。

５．友だちと仲良くする子
①友だちと過ごす中で、かかわり方やルールを知り、楽しく生活する。
②自分と友だちとの見え方や発達の違いに気づく。

以上を目標に生活や遊びの中で子どもたちの全面的な発達を目指しています。

２　日課表

時間	月	火	水	木	金
９：１５	登校				
９：３０	準備・健康観察・着替え・トイレ のびのびタイム （課題別指導、リズム体操、自由遊びなど） 朝の会				
１１：００	設定遊び （散歩、造形遊び、運動遊び、 音楽遊び、自然・調理、課題別等）				
１１：４０	自由遊び・トイレ				
１２：００	給食準備・給食・歯磨き・片付け				
１３：００	自由遊び・トイレ・着替え				
１３：３０	帰りの会				
１３：４５	下校				
１４：３０	個別相談　（13:45～14:30）				

３　教育内容

集団の中で活動しながら、人との信頼関係を築くとともに、個々に応じて日常生活で細やかな配慮をし、遊びや生活経験を広げていくようにしています。

また、色のコントラストをつけるなどして見やすい環境を整えます。視覚以外の感覚を活用したり、具体物に触る体験をしたりしながら、概念形成につなげています。子どもたちの興味・関心を広げながら、以下のような教育を行っています。

（１）基本的生活習慣

生活リズム、食事、排泄、衣服の着脱など基本的生活習慣の獲得にむけての取り組みを教育の中で行っています。自分でやろうという気持ちを育てながら、どうやったらできるか言葉かけをしたり、教員が一緒に動いたりしながら取り組んでいます。

（２）自由遊び

好きな遊びを通して、友だちや教員とのかかわりを大切にし、主体的に取り組む力をつけていきます。自分で遊びを選ぶ力を育てたり、目の使い方や手指の使い方に配慮したりしています。

教員や友だちとのやりとりは、コミュニケーションの力と、ルールを学ぶなど社会性を身につけることにつながります。また、子どもたちの課題に応じて働きかけ、好きな玩具を準備するなど、環境を整えています。

（３）のびのびタイム

幼児の実態に応じて、課題別指導、リズム体操、自由遊びなどを行います。

（４）設定遊び

一日の中心的な活動です。季節や行事に合わせて取り組んでいます。

＜散歩＞

近くの公園に出かけたり、踏切に電車の音を聞きに行ったりします。買い物学習をすることもあります。子どもたちが季節の移り変わりを感じることができるように働きかけます。

＜運動遊び＞

身体を動かす楽しさを知り、健康な心と身体をつくります。自分の身体を知り、身近な人と触れ合い、関わるなかで安心感や信頼感を育みます。プールや水遊び、屋外の固定遊具での遊びや、エアートランポリン、マットなどを用いた室内遊びなどがあります。

＜音楽遊び＞

歌・手遊び・楽器遊び等を通して音楽に親しみ、表現する楽しさを味わいます。季節の歌、わらべ歌、手遊び歌を「今月の歌」として選び、みんなで声を合わせて毎日歌っています。身体を大きく使ってリズムを感じたり、いろいろな楽器の音色を楽しみながら合奏したりします。

＜造形遊び＞

さまざまな素材のものに触れたり感触そのものを味わったりします。感じたこと・考えたことを自由に描いたり作ったりする活動を通し、概念形成の基礎をつくります。手指の巧緻性や視覚以外の感覚機能を高めます。

＜自然・調理＞

季節を感じながら、身近にある自然や生き物と触れ合う機会を持ち、豊かな感性を育てます。野菜の栽培や収穫等を通して食べ物に興味を持つと共に、植物の成長を観察しながら命を育てる実感を持たせます。収穫した野菜を使って調理しながら、見て、嗅いで、音を聞いて、触って、味見して等、食べ物への興味関心を広げます。

＜課題別（チャレンジ）＞

それぞれの課題にチャレンジします。

（5）給食

実態に応じて、手づかみ食べや道具（スプーン・フォーク・箸）を使っています。苦手な食べ物にも挑戦し、いろいろな食材にも触れ、食の世界を広げます。準備・片付けも含めての活動です。一人で食べようとする意欲を高めます。

（6）個別相談

13 時 45 分～14 時 30 分までの個別相談は、保護者の方と相談をしたり、相談に応じた課題を行ったりします。

4　行事

生活経験を広げたり集団での活動を楽しんだりできるように、校外行事（遠足・社会体験学習・野外体験学習）があります。

校内行事には、誕生会、冬のお楽しみ会などがあり、全校で行う体育祭や文化祭にも参加します。

5　ＰＴＡ活動

ＰＴＡ活動では、学習会やレクリエーションなどを行っています。
保護者の方と相談しながら、活動を決めています。

6　乳幼児教育相談

０歳児から５歳児までの視覚に障害のあるお子さんと保護者の方、お子さんと関わりのある方々からの相談に応じています。全盲児だけでなく、眼鏡等をしても視力が十分に出ない弱視児への支援も行っています。さまざまな事情で本校まで足を運ぶのが難しい場合には、こちらから出向くこともあります。個別の相談が中心ですが、希望によっては集団活動を行っています。電話やメールでの相談もできます。

地域の幼稚園、保育所（園）からの相談にも応じます。巡回相談も行っています。